

シンポジウム

変えたい、変えられます

廃プラスチックごみ問題の解決にむけて

～ 家庭からでる廃プラスチックごみのゆくえを捉え、何を変えたらよいのか
ごみの分別と有効利用を正面から考えます ～

2025年 **12月13日(土)**

13:30～16:30 (受付 13:15)

会 場：大津市生涯学習センター 視聴覚室 (大津市本丸町 6-50 ☎077-527-0025)
(京阪膳所本町より徒歩 5 分)

内 容：① 基調講演の部

- ・ 鍵谷 司氏 (環境計画センター会長代行、技術士 (衛生工学・建設・環境))
- ・ 徳満勝久氏 (滋賀県立大学工学部材料化学科教授・先端工学研究院長)
- ・ 竺 文彦氏 (元龍谷大学環境ソリューション学科教授)

② 意見交換の部

滋賀県立大学「廃棄物バスターズ」代表、環境団体活動者、参加の方々

定 員：50名 (先着順) (申込不要)

参加費：300円 (資料代)

生産から廃棄まで全ての過程で問題を発生させるプラスチック。

しかし、プラスチックは悪者ではないはず。

では、誰の責任なのか。これは、重要なお話です。

毎年発生する約 80 万トンの容器包装プラスチックごみ。

物質リサイクルされるのは、その約 4 分の1という現状から見えるものとは。

国際プラごみ条約の締結も保留となった今、プラスチックごみの

資源循環とリサイクル体制を変える適正処理はどうあるべきか。

日本でしかできない 解決への道を提案します。



問合せ：080-5338-7351 OR junmatsu10kssm@yahoo.co.jp

主 催：大津プラスチックごみ削減勉強会 (代表：松村)



【車でお出でくださる方へ】
センターの駐車場一部が工事中です。
駐車台数が限られます。ご了承ください。